



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

コード番号 7561 URL <http://www.hurxlev.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員人事総務部長 (氏名) 井手 是幸

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,190	△7.1	226	129.4	391	18.7	275	△12.1
26年3月期第1四半期	13,127	△4.7	98	△39.5	329	0.3	313	40.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 304百万円 (△6.0%) 26年3月期第1四半期 323百万円 (41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	27.61	—
26年3月期第1四半期	31.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	37,672	18,179	47.6	1,794.36
26年3月期	37,780	18,015	47.0	1,779.13

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 17,916百万円 26年3月期 17,764百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	13.00	—	20.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,500	△4.1	450	114.8	700	24.2	480	30.4	48.07
通期	49,000	△2.1	1,050	71.2	1,550	15.8	1,080	△47.8	108.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	11,025,032 株	26年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,039,857 株	26年3月期	1,039,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	9,985,175 株	26年3月期1Q	9,985,395 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより、景気は回復基調にあるものの、円安による原材料の上昇や原油価格の高騰など消費活動を抑制する要因もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化する消費者のニーズに対し、季節メニューのリニューアルや、メニュー表での顧客の嗜好に合った商品掲載区分への見直しなどの工夫をしております。また、研修を通して店舗従業員の接客マナーの向上に努めるなど、店舗のブラッシュアップを進めてまいりました。店舗委託事業においては、積極的な優良物件の仕入・未稼働店舗の後付・不採算店舗の解約・閉鎖によりストック収入の増加や空家賃の圧縮に注力し利益率の向上に努めてまいりました。

このような中、当第1四半期連結累計期間の売上高121億90百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益2億26百万円（前年同期比129.4%増）、経常利益3億91百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益2億75百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。また、多様化するニーズにお応えすべく、「ねぎ塩・竜田弁当」などの新商品の販売、季節メニューのリニューアルなどを行ってまいりました。また、お客様にとって「価値」のある商品、サービスの提供に努めるとともに、店舗運営形態の変更に取り組み、収益力の向上に努めてまいりました。

持ち帰り弁当事業の売上高は54億29百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は4億7百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

#### ②店舗委託事業

店舗委託事業においては、積極的な優良物件の仕入・未稼働店舗の後付・不採算店舗の解約・閉鎖によりストック収入の増加や空家賃の圧縮に注力し、利益率の向上に努めてまいりましたが、転貸店舗の大規模な撤退によるストック収入の減少もあり、店舗委託事業の売上高は56億17百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は23百万円（前年同期比57.5%減）となりました。

#### ③店舗管理事業

ビルオーナーに対してのビル管理受託事業の新規開拓へのアプローチや、前期より引き続きリーシング活動への注力、稼働率の維持・向上や保有物件の管理料等のビルマネジメント費用の削減に注力してまいりましたが、本格的な法人需要の拡大には至らず、前年同期に比べ微減で推移する結果となりました。

店舗管理事業の売上高は1億40百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は77百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

#### ④店舗直営事業

外食産業におきましては、食材価格及びエネルギーコストが上昇していることに加え、消費税増税に伴う可処分所得の低下による影響が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、「江戸前びっくり寿司」及び「廻転びっくり寿司」では、より多くのお客様にご来店頂き、快適なお食事を召し上がって頂くために店舗改装を進め、日本全国の選りすぐりの魚介を提供する「ご当地フェア」及びメーカー主催の「外食応援キャンペーン」等の施策を展開しましたが、再開発等による店舗の閉店や消費動向の変化により、来店客数は前年対比減少となりました。

店舗直営事業の売上高は3億92百万円（前年同期比27.6%減）、営業利益は17百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

#### ⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、引き続き生産効率の向上と新商品の提案に力を入れております。お手頃サイズのシュガードーナツとその商品展開、また、リバイバル商品も改良を重ね新たに販売し、ご好評をいただいております。

物流関連事業につきましては、既存インフラの強化とともに、グループ外の企業向けに事業の拡大を推進しております。

その他の事業の売上高は、6億10百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は30百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少し、376億72百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が4億46百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億23百万円、建物等の有形固定資産が1億57百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ2億72百万円減少し、194億92百万円となりました。主な要因として、未払消費税等が1億21百万円増加しましたが、買掛金が1億16百万円、長期借入金が2億60百万円減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億64百万円増加し、181億79百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の47.0%から0.5ポイント上昇し、47.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成27年3月期通期及び第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、連結子会社である㈱アサヒ物流は、平成26年4月1日付で㈱アサヒL&Cに商号変更しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,516,093	5,962,532
受取手形及び売掛金	2,141,935	1,918,646
有価証券	14,265	3,858
商品及び製品	530,718	494,285
原材料及び貯蔵品	110,536	116,586
繰延税金資産	140,530	148,965
その他	882,095	893,219
貸倒引当金	△91,105	△53,123
流動資産合計	9,245,068	9,484,971
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	7,204,206	7,077,133
機械装置及び運搬具(純額)	102,863	96,684
工具、器具及び備品(純額)	379,137	364,815
土地	12,194,216	12,194,216
リース資産(純額)	127,723	117,693
建設仮勘定	16	—
有形固定資産合計	20,008,164	19,850,543
<b>無形固定資産</b>		
のれん	175,462	164,781
その他	171,173	165,369
無形固定資産合計	346,636	330,150
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,503,972	1,525,762
長期貸付金	250,687	234,733
敷金及び保証金	5,605,011	5,529,344
繰延税金資産	152,780	144,273
長期未収入金	1,528,747	1,494,367
その他	709,547	677,190
貸倒引当金	△1,569,830	△1,598,759
投資その他の資産合計	8,180,917	8,006,912
固定資産合計	28,535,717	28,187,607
資産合計	37,780,785	37,672,578

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,357,361	2,240,590
短期借入金	664,672	650,674
1年内返済予定の長期借入金	1,240,440	1,190,220
未払金	878,381	926,872
未払法人税等	158,387	128,268
未払消費税等	49,191	171,039
賞与引当金	185,476	254,312
その他	1,688,652	1,758,066
流動負債合計	7,222,561	7,320,043
固定負債		
社債	57,500	40,000
長期借入金	7,755,265	7,494,590
退職給付に係る負債	43,037	42,469
負ののれん	272,978	204,733
長期預り保証金	3,399,699	3,401,889
繰延税金負債	368,917	368,849
資産除去債務	354,765	358,299
その他	290,765	261,809
固定負債合計	12,542,928	12,172,641
負債合計	19,765,490	19,492,685
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	11,254,142	11,389,972
自己株式	△1,515,246	△1,515,246
株主資本合計	17,706,362	17,842,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,552	74,773
その他の包括利益累計額合計	58,552	74,773
少数株主持分	250,379	262,927
純資産合計	18,015,294	18,179,893
負債純資産合計	37,780,785	37,672,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,127,288	12,190,586
売上原価	10,043,181	9,254,250
売上総利益	3,084,107	2,936,336
販売費及び一般管理費	2,985,407	2,709,953
営業利益	98,699	226,382
営業外収益		
受取利息	3,438	2,221
受取配当金	3,525	3,660
受取賃貸料	61,390	53,911
負ののれん償却額	83,827	68,244
業務委託解約益	55,730	50,997
持分法による投資利益	7,899	3,426
その他	94,197	53,927
営業外収益合計	310,009	236,388
営業外費用		
支払利息	27,664	17,184
賃貸費用	14,632	12,954
業務委託解約損	7,401	27,491
その他	29,407	14,058
営業外費用合計	79,105	71,688
経常利益	329,603	391,082
特別利益		
固定資産売却益	20,888	1,026
受取保険金	—	25,994
その他	1,660	750
特別利益合計	22,548	27,770
特別損失		
固定資産除却損	22,556	20,286
固定資産売却損	308	—
投資有価証券売却損	—	857
投資有価証券評価損	—	5,300
減損損失	10,925	—
その他	2,221	7,174
特別損失合計	36,011	33,618
税金等調整前四半期純利益	316,140	385,234
法人税、住民税及び事業税	96,627	104,390
法人税等調整額	△100,664	△7,391
法人税等合計	△4,037	96,999
少数株主損益調整前四半期純利益	320,177	288,235
少数株主利益	6,414	12,521
四半期純利益	313,763	275,714

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320,177	288,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,520	13,480
持分法適用会社に対する持分相当額	6,149	2,766
その他の包括利益合計	3,629	16,246
四半期包括利益	323,807	304,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,392	291,935
少数株主に係る四半期包括利益	6,414	12,547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,925,063	5,896,685	147,105	541,743	12,510,597
セグメント間の内部売上高又は 振替高	63,795	8,178	—	4,000	75,973
計	5,988,858	5,904,864	147,105	545,743	12,586,571
セグメント利益又は損失(△)	306,186	55,076	86,909	32,761	480,934

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	616,690	13,127,288	—	13,127,288
セグメント間の内部売上高又は 振替高	736,861	812,835	△812,835	—
計	1,353,551	13,940,123	△812,835	13,127,288
セグメント利益又は損失(△)	△21,625	459,309	△360,609	98,699

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・バーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△360,609千円には、セグメント間取引消去6,073千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△366,682千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,429,330	5,617,266	140,861	392,427	11,579,885
セグメント間の内部売上高又は 振替高	56,806	10,332	—	—	67,139
計	5,486,137	5,627,599	140,861	392,427	11,647,025
セグメント利益	407,412	23,412	77,255	17,158	525,238

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	610,700	12,190,586	—	12,190,586
セグメント間の内部売上高又は 振替高	673,180	740,319	△740,319	—
計	1,283,881	12,930,906	△740,319	12,190,586
セグメント利益	30,201	555,440	△329,057	226,382

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△329,057千円には、セグメント間取引消去△7,835千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△321,222千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。